

## 日本を代表する地方に 第2回観光地域づくりフォーラム

日本遺産人吉球磨観光地域づくり協議会が主催する第2回観光地域づくりフォーラムが、3月9日にあさぎり町須恵文化ホールで開催されました。高校生や市町村職員、一般の約350人が参加。

会場では、ビジョン策定のワーキング会議委員がブランドコンセプトとロゴを発表。「人吉・球磨 風水・祈りの浄化町」をコンセプトに、ロゴは人吉城の石垣に三日月がデザインしてあります。発表後、松岡市長などがパネラーとして参加した意見交換会も行われました。



会場で発表されたブランドコンセプトとロゴ

## 空き家管理のパートナー 人吉市空き家バンクに関する協定調印式

安心と安全が行き届いた誰もが住みたいと思うまちづくりを目指して空き家対策を推進している本市は、2月21日に一般社団法人熊本県宅地建物取引業協会と人吉市空き家バンクによる物件の調査や仲介に関する協定を市役所カルチャーパレス仮本庁舎で締結しました。

今後、空き家の売買や賃貸借の交渉、契約手続きなどを同協会が仲介することになります。同協会の浦田裕介支部長は「宅建協会も地域貢献を掲げている。微力ではあるが協力をしたい」と話していました。



協定を交わした松岡市長と浦田支部長

## 人気の観光列車大集合！ 観光列車サミット in 人吉球磨

S/L人吉の運行10周年を記念し、人吉駅で3月22日～23日の2日間にわたり観光列車サミット in 人吉球磨が開催されました。初日は人吉駅にJR九州とくま川鉄道の観光列車6列車が集結。駅構内には多くの鉄道愛好家や家族連れが押し寄せ、写真撮影を楽しみました。23日は「観光列車とまちづくり」をテーマに地域活性化にちなんだシンポジウムを開催。

両日ともプラレールのジオラマ展示やミニトレイン運行、列車グッズ販売などが行われ、人吉駅は大いににぎわいました。



観光列車の夢の共演を撮影しようと殺到するお客さんたち

## 華やかな人吉球磨の春 人吉球磨は、ひなまつり

今年も2月1日～3月24日まで「人吉球磨は、ひなまつり」が開催されました。市内も九日町のおひな通りなどで個性豊かなひな人形が飾られ、まちを彩りました。

3月3日には小雨が降る中、市内各地でイベントが開催され、各会場は多くの来場者でにぎわいました。九日町通りで行われた「おひなまつりパレード」では、化粧をし、きらびやかな衣装を身にまとった人間びなや舞子が登場。観客は、華やかな人間びなたちを写真に収めようとカメラを向けていました。

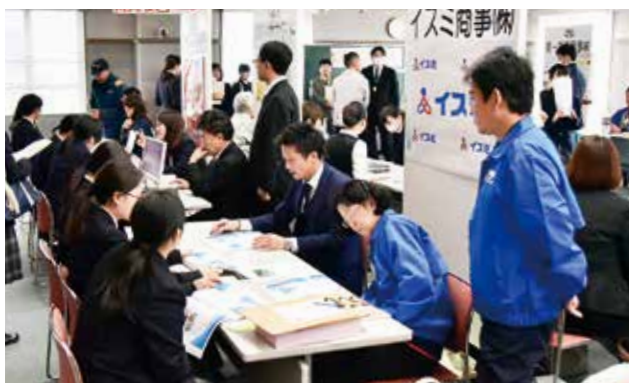


人間びなや舞子が九日町でパレード

## ふるさと人吉で働こう！ 合同企業説明会

人吉球磨地域の企業の活性化や人材確保を目指した合同企業説明会が3月17日に人吉商工会議所で開催されました。

人吉球磨のさまざまな業界から23社がブースを出展。就職活動を控えた高校生など233人が参加し、各ブースを回って担当者から会社の紹介や仕事の説明を受けました。主催の人吉商工会議所、西郷亮さんは「合同企業説明会は今回が初めての試み。少しでも多くの若者が地元企業に就職して、ふるさと人吉球磨を舞台に活躍してほしい」と話していました。



多くの参加者で盛り上がる会場

## 田野の大自然に触れ合う 人吉市草木山川学校春版

市内小学2年生を対象とした草木山川学校を、3月16日に旧田野小学校一帯で開催しました。60人の子どもたちが参加し、バスに乗り合わせて現地へ。会場では、シイタケのコマ打ちや卵型に整形されたヒノキ磨きと木に触れ合う活動を行いました。その後、野焼き前の美晴山でたこ上げを体験。下山後は地元の方が準備したおこわや豚汁で昼食を楽しみました。

中原小の本田楓奈さんは「たこ上げは、風が強かったので勢いよく上げることができ、楽しかった」と話していました。



美晴山に登り、たこ上げを楽しむ児童たち

## 市内中心部の築堤事業が終了 西間下町地区堤防完成式典

国土交通省が西間下町の球磨川左岸で平成29年度から工事を進めていた堤防が完成し、2月24日に現地で式典が開催されました。昭和40年に発生した水害を機に、国はこれまで市内中心部の築堤を進めてきましたが、人吉橋下流の堤防が完成し、築堤事業が終了しました。

完成した堤防は全長1000m、幅30m、高さ5m。管理用の坂路も設けられ、河川監視カメラも設置される予定です。式典は地元住民などで構成する実行委員が主催し、参加者約50人で祝いました。



堤防完成を祝し、西間下町建築踊りも披露された

## ウッチャン、ありがとう！ 市民栄誉表彰式

平成30年度人吉市健康で笑顔あふれる市民栄誉賞を受賞されたウッチャンことタレントの内村光良さんの表彰式を、3月14日に東京都で行いました。

当日は松岡市長が市民栄誉賞決定の経緯や内村さんの活躍が市民の励みになっていることへの謝辞を述べ、表彰盾と記念品を贈呈。内村さんは「故郷のことはいつも心に留めており、人吉球磨を何らかの形で宣伝できたと思う。今後も人吉のイメージアップのために頑張ります。ありがとうございます」とあいさつしました。



表彰盾を手に記念撮影する松岡市長と内村さん